



絵画の部展示

2月17日(金)～19日(日)の3日間「第1回安曇野市総合芸術展」が、豊科の交流学習センター「きぼう」を会場として開催された。

市内5地域では合併前からそれぞれの公民館で文化祭が開催されており、現在も毎年11月には各地域で力作が展示されている。また、それを楽しみに大勢の市民が会場に足を運び、趣向を凝らした催しを楽しむ姿を目にすることが出来る。この芸術展は、文化祭とは別

第1回安曇野市総合芸術展開催

安曇野市公民館報

安曇野市
中央公民館
No.5
TEL62-4565



写真の部展示

に市内全域から愛好者の作品を募集し、展示することにより、改めて安曇野市が一つであることを認識し、芸術文化をとおしての地域づくりを考える機会とするために開催された。

今回展示された分野は絵画・写真・彫刻の3分野であったが、2月7日(火)からは豊科近代美術館で市内の中学校・高等学校の美術部員の作品展も開催されており、2階部分でつながっている「きぼう」と「近代美術館」を往復し

ながら、作品を鑑賞する来館者の姿が窺えた。

絵画の部では油絵・日本画の作品29点が並んだ。写真の部では安曇野の四季の風景や、県外で撮影された作品48点が出展された。また、彫刻の部では、石膏作品を初め、樹脂で作成された作品5点が展示され、来館に訪れた人々が熱心に見入る姿が窺えた。

安曇野検定「水が織りなす安曇野今昔物語」開催

1月29日(日)豊科、穂高、三郷、堀金、明科の市内5地域公民館で、「安曇野検定」水が織りなす安曇野今昔物語」が開催された。第1回目となる今回は市内の歴史・文化・伝統に関する事項について一般の部・ジュニアの部の二部門で実施された。

市内の5地域公民館では、検定受検の準備として、昨年8月より全18回の講座を実施した。各地域に伝わる歴史・文化・伝統に関する講座であり、それぞれの公民館の企画の下に行なわれた。数年前の検定ブームにより、全国的にこの地検定が開催されているが、多くが観光等のPRを兼ねて、外へと発信することを目的に行なわれている。今回の安曇野検定は、それらの検定とは一線を画したものであるとして、市民に対してこの地域をより深く知ってもらうことを目的に実施された。そのため、準備の講座の内容も、実際にそこから出題さ



彫刻の部展示



問題に取り組む受験者 (穂高会場)

れた検定問題も、難問が多かったとの感想が受検者から聞かれた。

1月30日、31日、2月1日には三郷小学校、堀金小学校、穂高北小学校でも学校ごとにジュニアの部の検定が行なわれ、一般の部・ジュニアの部合わせて339名が第1回目の安曇野検定に挑んだ。

公民館事業紹介 堀金公民館

堀金公民館では、市民の誰もが気軽に参加できる事業を、各地区館の協力を得ながら実施してきました。その行事の一部を紹介します。

野菜作りの楽しさを

農業体験講座は、非農家の方を対象にした農業講座で、家庭菜園に興味のある若いお母さん方にも参加いただき、野菜づくりの楽しさを体験していただきました。



子どもと一緒に収穫

誰でも気軽にスポーツ

安曇野市全域から、家族や友達でチームを作り、7種目の軽スポーツで得点を争う「みんなのスポートin常念」に挑戦してもらいました。52組140人の参加があり、今年度も盛大に開催できました。



上手に打てるかな

華やかに文化祭

文化祭の併催行事「まどいの広場」と「芸能祭」には、社会福祉協議会堀金支所との連携で、普段あまり外出する機会が少ないお年寄りの皆さんを招待し、午前中は小中学生の楽器や太鼓の演奏と、ロシアで開発された電子楽器テルミンの演奏を聴いていただき、午後は、公民館女性部と、ボランティア団体「まめの会」で作ったお弁当をいただいた後、芸能祭を観ていただきました。「楽しかったから来年もお願いします」の声に次年度開催の弾みとなりました。

また文化祭では、保育園児の作品から、高齢者の作品までと、ところ狭しと展示され、多くの方に鑑賞していただきました。特に4月から開館した児童館へくる子どもたちの作品も展示され、展示品種も盛り沢山となり、年々盛大な文化祭となっております。



中学生の太鼓演奏

不思議な楽器テルミン

絆でつながる駅伝大会

堀金地区一周駅伝大会は堀金村時代から47回を数える伝統ある大会で、9地区の公民館を中継地として、タスキをつなぎ、沿道での熱の入った声援に、各選手とも奮闘、熱い戦いが展開されました。

冬場の運動不足解消



何点かな (シャフルボード)

「冬場の運動不足解消と、スポーツを通じて地域住民相互の融和を図る」ことを目的に開催された冬

好奇心の塊

小学生を対象に、子どもいけ花クラブ、おもしろ生活クラブ、科学チャレンジ隊の3講座を年間を通して開講しました。どの講座でも「どうしてそうなの」「なんでこうしてはいけないの」などの質問攻めに、講師も返答に苦慮する場面もあり、子ども達の旺盛な好奇心に脱帽！



何ボルトの電気が起るかな

その他パソコン講座や、安曇野市に5つある国指定文化財を勉強しよう、中房温泉にある「膠柱珪酸と珪華」を見学しました。

私は一生懸命

前明科地域芸術文化協会 会長 長嶺 誠

標高933¹、北緯36度21分、この長峰山は日本列島の真ん中に位置して、同一緯度上に安宅の関、槍ヶ岳、十ヶ堰、浅間山、水戸と並ぶとひときわ存在感を増す。

山高くして水清く風うまい。ここに立つてぐるりと見渡すと、色んなものが見えてくる。

前方の山脈は、地下深くに有った岩石が隆起したものだとか、後方の四賀方面では鯨やトドの化石が採取された。眼下に広がる盆地は、かつて湖だったという。犀龍小太郎伝説もうなづける。保福寺峠は大和政権時代に開削されて、松本の殿様の参勤交代のルートだった。ウエストンがアルプスを望んで感嘆したとか。善光寺詣りの立峠も今では高速道路が抜けている。70年続いたという犀川通船。船を白板に戻すにはどうしたんだらうなど興味を尽きない。

新橋から柏原まで水を引いて十の村で分け合ったので拾ヶ堰という。梓川を横切って、570¹の等高線を頼りに7万人を動員して、わずか3ヶ月でやってしまっただけという。今から200年も前の偉業には全く驚かされるものがあり、名前のごとく世間にとどろ



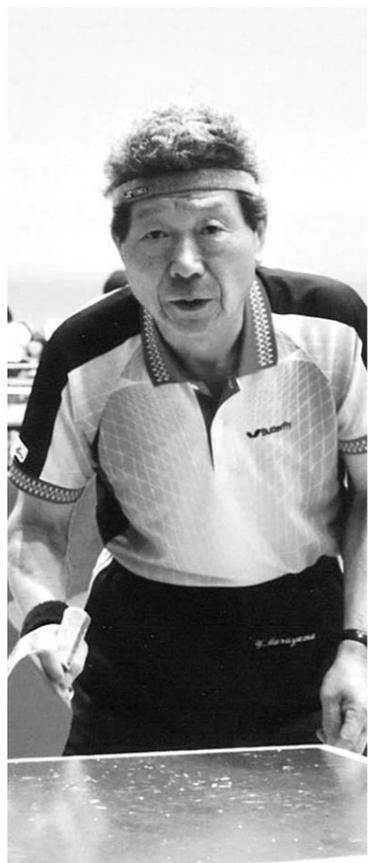
くものであったことであろう。郷土の歴史を後世に伝えることは必要である。また、地域にはそれぞれ、現在の文化の礎を築いた先人が数多くいる。百科の題材がある安曇野の歴史文化を「長峰山頂俯瞰塾」とでも名づけて今後伝えていけたらと考えている。

卓球は生きがい

丸山 義春

72歳、今も現役です。

私が卓球を本格的に始めたきっかけは、南安曇農業高校時代。入学時には、3年生がインターハイ県大会個人優勝と、3位入賞を果たしていました。入部体験会で卓球部を体験し、伝統あるクラブで、厳しい練習と良き指導を受け、うまくなりたと思ったからです。以来54年の間、卓球を続けています。その間全日本実業団・全日本社会人・全日本マスターズ等で10回以上全国大会に出場していますが、



上位入賞には至らず、北信越マスターズ65歳代2位が最高位です。卓球は室内競技のため年間を通じて活動ができます。また、試合は年代別のため高齢者でも参加でき、85歳以上の部もあるので、楽しく出場できます。

硬球とニユースポーツのラージボールがあり、それぞれが別の目的を持ちながらも、楽しめることも特徴の一つです。10分くらいラリーを続けると、良い汗が出始め、健康維持に大変良いと思います。

私はスポーツ少年団や安曇野卓球連盟を立ち上げ、そして豊科体協卓球部の創設等に関わってきました。更に子供や女性の卓球教室を行い、底辺拡大を図ってきました。このように私にとって卓球は生活の一部になっており、今も高校時代と同じ体重を維持しています。昨年は県民スポーツフェスティバルのラージボール卓球男子70代の部で優勝。中部日本卓球大会県予選男子70代・全日本卓球選手権マスターズの部県予選大会男子

70代の部でそれぞれ3位に入賞することができました。これからも常に向上心を持ってレベルアップを図り、全国大会を目指していきたいと思えます。

現在、少子・高齢化が進み、子供の体力低下や、高齢者の医療費の増加が私たちの生活に影響をおよぼしています。このような状況の中で、生涯に亘りスポーツに親しむことは、生活に張りができるだけでなく、子供の体力向上、高齢者の体力維持が図られ、健康で楽しい人生を送ることができると思えます。

安曇野市体育協会豊科卓球部は、毎週火曜日・金曜日夜7時から豊科南社会体育館で練習を行っています。技術向上と体力維持向上のために、大勢の皆さまが参加してくださるのをお待ちしております。

(安曇野市スポーツ推進委員長・長野県卓球連盟理事・安曇野卓球連盟参与・安曇野市体育協会豊科卓球部長)

グループ紹介

三郷義民太鼓保存会

会長 二木 重光

三郷義民太鼓保存会は、昭和61年「貞享義民300年祭」の記念事業の一つとして「貞享義民太鼓」が作曲され、これを契機に歴史と伝統文化を継承し、豊かな地域づくりを目指して発足・設立されました。以来貞享義民の霊を祀る「貞享義民社」例祭には義民太鼓を奉納し、また数々の催し物に参加してまいりました。

義民太鼓の演奏に際し、太鼓の演奏の中へ、義民の語りを入れて更に物語の絵画スライドを挿入し尺八の演奏も加え、今日の「貞享義民太鼓」が完成されました。

【会の活動状況】

三郷義民太鼓保存会は今までに、信州博覧会、長野冬季オリンピック



柿之本芳月の碑をバックに三郷義民太鼓のイラスト

ピック、友好都市である奈良県三郷町記念祭、邦楽の祭典でもあります「響き音楽祭」のほか、各種社会福祉事業のイベントや、多くの催しに参加してまいりました。

現在のメンバーは、太鼓を愛し義民に感銘する小学生から高齢者、会社員や主婦などバラエティーに構成されたファミリーチームです。

義民の精神で、心一つにして練習に励んでいる会員は、今後も安曇野市の芸術文化活動に積極的に参加して、太鼓を通じて義民を称えたいと意気込んでいます。

ただいま、会の精神を理解して賛同してくれる方の入会を募集しています。毎週木曜日午後7時30分から9時30分まで「三郷社会体

地区公民館だより

牧地区は戸数約300戸、居住者数千人を超え、穂高地域の西方に位置しています。全域が東下がりの傾斜地ですが、市内全域を見渡すことができます。

数ある地域活動の中でも特筆するものは、長年続く『こどもの日親子ふれあい遠足』です。20数年前ヨチヨチ歩きで参加した子が、今や3人の子供とともに夫婦で参加したり、5月の連休中の開催にも係わらず、子供の参加は例年7割を超えています。ビンゴでお宝、女性部が頑張る手づくりカレーと大好評。満願寺の地獄絵図の説明

育館」で練習を行なっています。ご希望の方は三郷公民館（TEL77-2109）までご連絡をお待ちしています。

【貞享義民】貞享3年10月、松本藩の年貢増徴に反発し、凶作と過酷な年貢に苦しむ農民を救うため、中萱村の元庄屋「多田加助」を首領に藩内庄屋層を中心とする同志が糾合し、五ヶ条の訴状を以て直訴をした。この直訴で一旦は農民たちの願いが叶ったかに思われたが、松本藩の設計で実らず首謀者とその家族28名が磔や獄門に処せられた。人々はこの義挙を尊び、犠牲者を義民と仰ぎ神として祀ってきた。

に「あーこわかった」と身をすくめる幼い児からも、帰り際には「来年もまた来ます」のうれしい声が聞こえました。22年度からは、それまで実施し



こどもの日親子ふれあい遠足

ていたソフトボール大会に替え、老若男女、広い年齢層で楽しめるマレットゴルフを公民館事業として取り入れていきます。2回目となる今年度の大会は、会場の権現宮マレットゴルフ場が一杯となる参加が見られました。



人形劇鑑賞会

女性部では毎年、独自の事業として健康指導講習会、フラワー講習会を行なっていますが、今年度はそれに加えて、地元の人形作家の服部さんをお願いして、人形劇鑑賞会を開催いたしました。

11月には牧大根を目玉に収穫祭と、地域の人の思わぬ一面が窺える文化展を開催し、締めは3月に敬老会を予定しています。毎年住民200人以上が関わる大事業となつていきます。しかし、当地区も例外に漏れず、体育系の選手依頼には役員がひと苦労もふた苦労もしています。役員負担を減らし、多くの住民に参加してもらい、元気な地区をと願いながら、公民館活動を進めています。

(牧地区公民館長 藤原正三)